栄養サポートチーム（ＮＳＴ）による診療について

JMA GROUP

地域の状況と当院の取組み

当院の所属する「賀茂地区（１市５町）」では高齢化が急激に進んでおり、高齢化率が40%を超えています。加齢による様々な疾患にて「栄養障がい等」をきたす患者さんが近年増えております。一方、当地域では「栄養サポートチーム加算（診療報酬上の施設基準）」を届出している病院がなく、チーム医療として患者さんの栄養サポートをしている地域とは言い難い状況でした。（2025年１月時点）

そこで、当院では「栄養障がいの状態等にある患者さん」が「生活の質の向上（ＱＯＬ）等」を図れるように、2025年２月に施設基準の届出をし、「栄養サポートチーム（ＮＳＴ）」を稼働致しました。

所定の研修を修了した「医師・看護師・薬剤師・管理栄養士」がチームとして、栄養障がいの状態またはその恐れがある患者さんに医療サービス等を提供してサポートをしていきます。

栄養サポートチーム（ＮＳＴ）とは・・・

栄養サポートチームは、1970年に米国のシカゴで、医師や看護師、薬剤師、管理栄養士などが集まり、栄養療法について討議したのがはじまりとされています。ＮＳＴとは英語で「Nutrition Support Team」という意味です。日本では1998年頃に普及しはじめており、栄養障がいのある患者さんだけでなく、潜在的なリスクを抱える患者さんにも対応しているのが、日本版の特徴とも言われています。

患者さんへの医療サービス提供

当院の栄養サポートチームは、栄養管理計画を策定した患者さんで、栄養障がいの状態にある（または栄養障がいになることが見込まれる）患者さんに対して、主に以下の診療を行っております。これらの診療を通じ、栄養状態の改善を図ります。また、必要に応じて経口摂取への円滑な移行を促進します。

- 栄養状態の改善に係るカンファレンス及び回診
- 担当医師及び看護師等と共同の上で栄養治療実施計画の作成
- 適宜、栄養治療実施計画の内容を説明し、交付
- 栄養治療実施計画に基づいた適切な治療とフォローアップ
- 治療終了（退院・転棟）時に評価をし、指導する　・・・等

2025年８月７日 下田メディカルセンター 栄養サポートチーム